



みや 成 寿 男
みや 成 寿 男

新市庁舎の太陽光発電装置 の設置について

国家レベルの政治的な推進が不可欠

質

新市庁舎に自然エネルギー
太陽光発電は。

答 市長

新市庁舎建設については、平成21年度に策定された基本構想に基づき事業を推進していきます。その基本構想におきまして、新市庁舎に採用できる新エネルギーとして、太陽光発電、バイオマス発電、燃料

電池などを想定し、それぞれの特徴、経済性をよく検討して有利なシステムであれば採用するとともに、建設費と維持費のバランス、躯体と設備配管とのかわり、設備機器の更新時期・工事を含めた経済的な設備計画など、建物のライフサイクルコストに要する費用を考慮して計画を進めることとしています。

太陽光発電設備の採用について基本設計を行う段階で検討した結果、初期投資費と施設維持費を合わせた発電コストが他の発電方式に比較して高価であり、最も安価な太陽光発電パネルを架台に取り付ける方式でも、単純償

却に70年ほどかかることが予想されるため、太陽光発電設備については採用しないことといたしました。
庁舎建設にあたりましては、施設整備方針に基づき、できる限りのエコ対策に取り組んでまいります。



個人住宅用太陽光発電装置



豊後大野市の農業振興について

～県内外から募集します～



え とう ま さ ひろ
衛 藤 正 宏



※インキュベーション…とは？

卵からふ化させるという意味から転じて、ゼロから生み出し、育て上げることを表わしています。

新規就農者インキュベーションファーム

新規就農者 × 豊後大野市

大きな農地を有する豊後大野市でチャレンジしてみませんか。地域とともに、あなたのやる気と全力で応援します。

豊後大野市産
おおいだ
夏秋ピーマン
西日本1位
全国4位

農業にこだわる
ピーマンにこだわる
あとは本気で
日本一

大分県豊後大野市

質

豊後大野市第2次農業振興計画に掲げたテーマ「チャンス、チェンジ、チャレンジ」。本市の農業の発展なくして市政の発展なし、この計画達成に向け、農業に挑戦している若者を含め、農業者にどんな支援をするのか。

答

市長

第2次農業振興計画では、「人づくり」「ものづくり」「システムづくり」を体系の柱に、農業振興に向けた振興方策を具体的に掲げました。

まず、「ひとづくり」では、新たな担い手対策として「インキュベーションファーム事業」に取り組み、市外からの新規就農者の確保に努めます。

次に、「ものづくり」では、農業粗生産額120億円を目指し、地域性を活かした産地化とブランドの確立を図ります。

そこで、戦略品目として「ピーマン、白ねぎ、かんしょ、さといも」を選定するとともに、「戦略品目産地化プロジェクト推進チーム」を設置し、早期に産地化とブランド化が図られるよう取り組んでいきます。

さらに、農協、市および県などの関係機関が連携し、営農指導体制の確立を図るため「営農普及支援ネットワーク協議会」を設置しました。

これらの取り組みについては、各普及機関が一体となり実践することにより、第2次農業振興計画に掲げた基本目標および具体的振興目標の達成は可能と考えています。